

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 令和5年3月8日

送信先: report@r-ict-advisor.jp

派遣決定番号

報告回次

2日目

## 令和4年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

### 1. 申請団体情報

#### 1-1. 申請団体

団体名	玄海町	代表者名	脇山伸太郎
担当者部署	防災安全課	連絡先電話番号	0955-52-2115
担当者役職	情報専門官	担当者氏名	小川正夫
住所	847-1421 佐賀県玄海町諸浦348		

#### 1-2. 推薦団体 (「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

### 2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	藤井 靖史
評価	大変よい
上記評価の理由 (どのようなところがよかったか等詳細に)	玄海町と同規模の団体のDX分野の責任者をされているため、自治体の内部事情も踏まえた具体的なDX対応事例や、課題に対する有効な取り組み姿勢なども含めてわかりやすく説明していただいたため。
アドバイザーへの要望事項	可能であれば継続して助言等をお願いしていきたい。

### 3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日 (申請書より)	支援内容 (申請書より)	期日・支援内容の変更あり	WEBでの手続き日	受付番号
	令和5年1月31日	講演(実地)	有	令和5年2月20日	586
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間 (分)
	令和5年1月30日	講演 (実地)	14時00分	15時30分	
				活動時間 (分)	90
3-2. 派遣場所	会場名			最寄駅	
	所在地			最寄駅からの交通手段	

### 4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可  掲載可

[https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past\\_year\\_all\\_houkoku/](https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/)

### 5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性 (職員、一般、企業等) について【自由記述】	人数
	DX推進室職員	6人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	町内のDXを進めることとしているが、幹部や職員のDXに関する意識の格差があり、多くの場合は危機感も乏しく、なぜDXが必要なのか、どのように取り組む必要があるのか等の共通認識が共有できていない状況。	
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	なぜDXが必要なのか、どのように取り組む必要があるのか等のDXについての取り組みの重要性を幹部・職員が認識して自らの意識が改革され、魅力的な地域社会の創出、将来の成長・発展等について自分達で考えてDX関連事業が運営されるようになる。	
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	第2回は幹部向けDX講演として実施した。講演の中で、藤井アドバイザーから、DXでは「デジタル化」を目的とせず、もともと総合計画などで示されている課題に解決を行うことを目的にすべき、今時の課題解決しようとする自ずとデジタル利用になる。課題は管理職自身がよく知っているのそれを目標にするとよい、解決に必要なデジタル人材は職員全員を底上げして取り組むとなど、地域での実践の経験をもとに講演として助言いただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容	幹部向けDX講演の受講者のアンケートで、「DXをもっと推進すべき」との回答が3/4以上となったほか、意見として「やってみたい」「課題解決のツールとして取り入れたい」「他団体の事例を取り	

(具体的にご記入下さい)	ほか、忘死として「やっつけたい」「課題解決のツールとして取りたい」「他団体の事例を取り入れたい」などの前向きなものも多くあり、講演によって幹部・職員の多くをDXについて積極的な姿勢に持ちこくことができた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	幹部向けDX講演の受講者のアンケートの意見で「何を行うか取捨選択すべき」「課題の洗い出し必要」などもあり、今後のDXの取り組みをどのように進めて行くか検討が必要であることもわかった。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 講演の内容は「わかりやすい」、他団体での取り組み事例の紹介も「参考になった」、DXについて「もっと推進すべき」等の非常に良好な結果となった。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
事業の最終的な目指す姿	DXに関して町の幹部・職員の間で共通の認識を持ち、総合計画や総合戦略で目指す事項を実現する事業に取り組んでいく。	

未記入のセルが有ります。以下の項目に水色と黄色のセルが残っていないかご確認下さい。  
なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

1-1.

3-2.

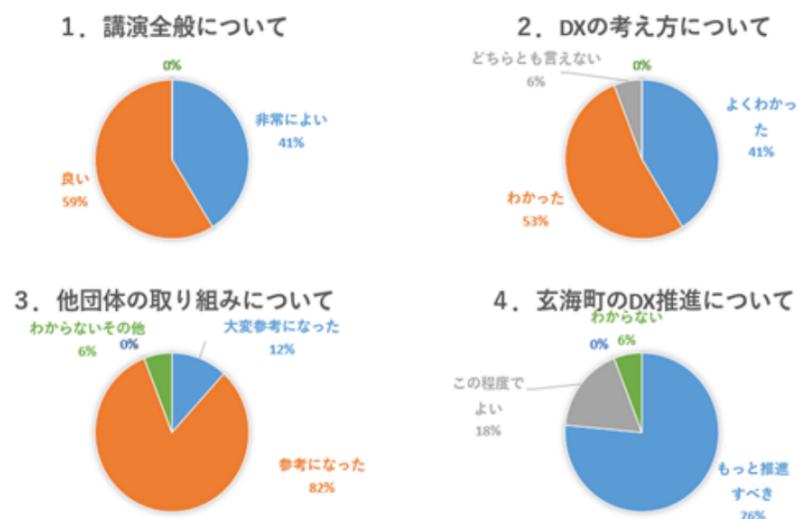
## 6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



## 第2回の幹部向けDX講演のアンケート結果

### 幹部向けDX講演 アンケート集計結果



## 幹部向けDX講演 アンケートでの意見等

### 1. 講演全般について

- ・わかりやすい説明だった
- ・全体的にわかりやすかった
- ・デジタルの推進ばかり考えていたので課題解決のツールとしてとらえたい
- ・少しずつですがDXについてわかってきたように思います
- ・DXのさわりから説明いただいてよかった
- ・気さくな感じで聞きやすくてよかった
- ・デジタルに特化していなことで安心しました
- ・「DX」という概念がさらに一段変わりました。そもそもの考え方、住民目線のサービス提供を根底にして考えたいと感じた。
- ・とても楽しい時間でした
- ・わかりやすかったしとっつきやすかった。やってみようと思う気持ちになった。
- ・時間が足りず資料を眺めたのはもったいなかった

### 2. DXの考え方やOODAについて

- ・DXがICTを必ずしも使用するとは限らないことが新しい発見でした
- ・「何のために使うのか」肝心
- ・PDCAにこだわっていたのでOODAを導入してみる
- ・OODAはなじみがなく理解するのに少し時間がかかりそう。DX=働き方改革と言われたが「D」に引っ張られそう。
- ・OODAの考え方は初めて聞いたが、計画(PLAN)がやりくいとときの対応ができるのがわかった

### 3. 参考になった事例、玄海町でも取り組むべき事例について

- ・研修の講師は職員、業務量調査の他市町との比較
- ・まずは町民がスマホ、タブレット等が使えるようにする
- ・複業人材
- ・「D」にとらわれず、課題の拾い出し、解決、業務改革、働き方改革につながることをまずやりますか
- ・デジタルよろず相談室
- ・デジタルよろず相談室みたいに他の自治体がやっている良いところを参考に取り入れられれば良い
- ・地元出身者に副業としてアイデア出しを依頼

### 4. 玄海町のDX推進の進め方について

- ・全職員で取り組む姿勢
- ・推進すべきだが何を行うか取捨選択すべき
- ・課題の洗い出しがもう少し必要な気がします
- ・課題の洗い出しからスタート、本当に必要な部分から取り組む
- ・情報中心よりも企画系の部署が中心がよい
- ・職員のやる気(合意形成)の出し方が重要だと感じた
- ・働き方改革について取り組んでいきたい
- ・業務改革、働き方改革、ワークライフバランスの改善につながる
- ・良いですね。Dは置いといて。
- ・地域商社も協力してやってきたい